認知症の経過と支援の流れ
(認知症ケアパス)

認知症ケアパスとは、認知症の症状に応じた対応・支援体制を一覧にしたものです。

原因となる病気の種類や身体状況などにより経過は異なり、必ずしもこの通りの経過をたどるとは限りませんが、変化していく状態に応じてどのような支援を受ければよいのか大まかな目安を知り、今後の見通しをつける参考としてください。

認知症の経過 (右に進むほど進行)	認知症の疑いがある状態 (MCI)	認知症の症状はあっても 日常生活は自立している状態	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立できる状態	日常生活に手助けや介護が必要な状態	常に介護が必要な状態
本人の様子	○物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している。	○買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している。 ○新しいことがなかなか覚えられない。 ○料理の準備や手順を考えるなど、状況判断が必要な行為が苦手になる。	○服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが1人では難しい。 ○たびたび道に迷う。 ○買い物など今までできたことにミスが目立つ。	○着替えや食事、トイレ等がうまくできない。 ○自宅が分からなくなる。 ○日時や時間、季節が分からなくなる。	○ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である。 ○言葉によるコミュニケーションが難しくなる。 ○声掛けや介護を拒む。 ○飲み込みなどに支障が出て、食事に介助が必要になる。
本人や家族を支援するサービスや制度	<p>予防・進行を抑える</p> <p>社会参加 ◆綾部市シルバー人材センター ※綾部市在住、60歳以上の方を対象とした働く居場所のこと ◆生活・介護支援サポーター (通称：Gサポ) ※ちょっとした生活の困りごとの手助けや見守り活動等の地域活動の担い手のこと)</p> <p>運動・社会参加 ◆介護予防事業 ◆清山荘 ※12ページに説明を記載 地域の人々との交流 ◆高齢者サロン活動</p>				
	<p>相談</p> <p>介護の悩みに関する相談や情報交換 ◆認知症カフェ ※13～14ページに説明を記載 介護の悩みに関する相談や情報交換 ◆介護者家族教室 ※12ページに説明を記載 認知症に関する相談 ◆もの忘れ相談 ◆あがりと (認知症初期集中支援チーム) ※17ページに説明を記載 認知症に関する相談 ◆地域包括支援センター ※6ページに連絡先を記載 ◆京都府認知症コールセンター ◆認知症の人と家族の会 ◆京都府若年性認知症コールセンター ※7ページに連絡先を記載 ◆認知症あんしんサポート相談窓口 ※8ページに連絡先を記載</p>				
	<p>見守り</p> <p>◆認知症サポーター ◆シルバーサポート店 ※15ページに説明を記載 ◆高齢者対策SOSネットワーク ◆高齢者対策SOSネットワーク事前登録事業 ◆認知症高齢者支援事業 (GPS機器の利用助成) ※16ページに説明を記載 ◆民生委員 ・ あんしんカード ※15ページに説明を記載</p>				
	<p>生活支援</p> <p>暮らしを支える制度 ◆在宅高齢者等配食サービス事業 ◆高齢者等見守りサービス補助金 ※16ページに説明を記載 ◆運転免許証自主返納者へのあやバス回数券又は定期券の無料交付 ◆移送サービス ※9～10ページに説明を記載 お金の管理や財産、契約に関すること ◆日常生活自立支援事業 ※11ページに説明を記載 お金の管理や財産、契約に関すること ◆成年後見制度 ※11ページに説明を記載</p>				
	<p>医療</p> <p>認知症看護・介護外来 ※5ページに説明を記載 かかりつけ医・専門医療機関・認知症サポート医・舞鶴医療センター (認知症疾患医療センター) ※4～5ページに説明を記載 薬局・薬剤師 自宅で医療を受ける ◆訪問診療 ◆訪問看護 ◆訪問歯科 ◆訪問薬剤管理指導</p>				
	<p>介護</p> <p>介護保険サービスについての相談 ◆地域包括支援センター ◆ケアマネジャー ※6～7ページに説明を記載 通いで受けるサービス ◆通所介護 ◆通所リハビリテーション ◆認知症対応型通所介護 等 自宅で受けられるサービス ◆訪問介護 ◆訪問リハビリテーション ◆訪問入浴 等 施設で受けられるサービス ◆短期入所生活介護 ◆小規模多機能型居宅介護 ◆看護小規模多機能型居宅介護 等</p>				
	<p>住まい</p> <p>生活環境を整える ◆福祉用具購入・貸与 ◆住宅改修 等 見守りや介護を受けながら生活する ◆生活支援ハウス ◆ケアハウス ◆養護老人ホーム 等 見守りや介護を受けながら生活する ◆認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 等 見守りや介護を受けながら生活する ◆介護老人福祉施設 ◆特定施設入居者生活介護 等</p>				